

女子Pで沢初め

奥多摩 大丹波川真名井沢

昨シーズンに計画したが、体調不良により自分だけ行けなかった沢。

2017年5月27日(土)

【メンバー】

竹澤 (L)、三坂

【グレード】1級下

【地形図】武蔵御岳、原市場、武蔵日原

【記】竹澤

5月27日 曇り時々ガス



登れる小滝が続く

幸運にも三坂さんのご都合が合

い、女性2名で沢始めと相成った。バス停から30分ほどの歩きで「とりがや橋」に到着。ここからも入渓できるが、しばらく踏み跡をたどって堰堤が連続する辺りから入渓した。水は思ったほど冷たく



はなく一安心。シーズン最初はバ 7m 魚止滝は右壁を登る

ランス感覚が今一だ。少し前までわかんやスノーシューで安定していた足元が、今は薄っぺらい沢靴。ぬめったゴロで何度も転びそうになる。

林道を歩いていたときは太陽が照らしていたが、次第に曇り空に変わってきた。真名井沢は鬱蒼として暗く、閉塞的。倒木も多く見られやや荒れた印象だ。あちらこちらにワサビ田跡が見られる。フリーで登れる小滝が続き、ロープが要りそうな滝は簡単に巻けるので巻いて行く。

途中、ふと時間がかなり押していることに気づく。入渓が遅かったこともあるが、タイムキーピングが成っていなかった。久しぶりにご一緒した三坂さんと、水飲み休憩のたびにお喋りして結局大休止になっていた、というパターンの無限ループ。女子トークは危険です。

お喋りを封印してc. 900で左の枝沢に入り赤杭尾根の登山道を目指して詰めていく。藪ごぎは無いが細かいザレで歩きにくい。ガスガスの植林帯を抜けるとc. 1, 100のコルびつたりに出た。時計を気にしながらそそくさと登山道を下山開始。登山道に群れを成していた某山の幸の誘惑も振り切りました。

【行程】

上日向バス停 (9:50) ~林道真名井線~とりがや橋 (10:25/11:05) ~真名井沢遡行~c. 900付近 (14:55) ~c. 1, 100 稜線 (15:40) ~赤杭尾根登山道~古里駅 (18:25)

